

## 縄文人と弥生人



日本証券アナリスト協会 常務理事  
渥美 恭弘

哲学者の梅原猛先生（前国際日本文化研究センター所長）から、何十年も前に学んだことがある。日本は単一民族国家のように見えるけれども、実はそうではなく、複合民族国家である。どういう複合かと言うと、縄文時代以前から住んでいる「縄文人」という民族と、新しく弥生時代になって中国から入ってきた「弥生人」、この二つの混血の民族である。今は混血が相当進んできたので、日本人という単一民族のように見えるが、そうではない、というお話だった。当時、私は、日本人は単一民族だと思っていたので、極めて刺激的なお話だった。それ以降、私が「日本人とは何か」を考えるときに、その基本にこの考え方がある。最近出版された日本人のルーツに関する文献を見ても、この考え方が今や通説となっているようだ。

「縄文人」というのは、数万年前から日本列島に住んでいた先住民族だ。「縄文人」のルーツは諸説あるが、東南アジア地域から来たという説が有力になってきているようだ。日本では1万2千年ぐらい前に縄文時代という時代に入り、B.C.3世紀ごろまで続くが、その間、日本列島には基本的に「縄文人」だけが住んでいた。一説によると、9割が東日本に住んでいた。「縄文人」は縄文土器という、当時としては世界最高レベルの土器も持っていた。男は魚や獣を狩猟し、女は山菜やドングリを採